

防災の文化を仙台から 「仙台防災枠組」の理念を未来へ



世界防災フォーラム



震災対策技術展



仙台防災未来フォーラム

世界へ防災を発信

11月9日から「世界防災フォーラム」/防災ダボス会議@2019、「仙台防災未来フォーラム」、「震災対策技術展」の3つのイベントが同時開催されます。

「世界防災フォーラム」は、スイスで開催される防災ダボス会議と連携し、今回が2回目の開催。隔年で仙台で開催され、国内外から産・官・学・民の防災に関わる人々が集まる国際会議です。平成27年に行われた第3回国連防災世界会議において採択された、国際的な防災の取り組み指針である「仙台防災枠組」の推進と、防災の考え方を各国の政策などに浸透させることを目指します。専門家対象のセッションだけでなく、市民も参加できることが特徴で、一般公開イベントも行われます。国内外の防災に関する解決策をさまざまな立場から提案し、互いに学び合い、新たな価値を創造しながら、その知見を仙台から発信します。

市が平成28年から毎年開催する「仙台防災未来フォーラム」は、東日本大震災の経験や教訓を未来の防災につなぐため、市民が防災を学び、活動を発信できるイベントです。防災の担い手がそれぞれ

誰もが防災の主役に

「仙台防災枠組」採択都市として、世界から強い関心が寄せられる本市。これまでライフラインなどのハード整備はもろろんのこと、子どもから高齢者、また女性や障害のある方などの多様な市民が主体となり、自助・共助を担う地域づくりなど、防災の強化を図ってきました。国籍、年齢、性別によらない、さまざまな立場の人たちが防災について、学び、考え、対等な立場で互いに協力することが、災害に強い都市をつくることにつながります。

3つのイベントを通して、一人一人の防災への関心を高めるとともに、「仙台防災枠組」の理念を未来へつなぐ、防災環境都市づくりを推進していきます。

特集① 防災の文化を仙台から「仙台防災枠組」の理念を未来へ

仙台防災未来フォーラム

市民が防災を学び、発信できるイベント

「わたしたちの防災を届けよう世界へ、未来へ」をテーマに、発表や展示、体験型プログラムなどを通じ防災を学びます。

- 日時＝11月10日(日)10:00～17:00
- 会場＝仙台国際センター展示棟

【プログラムの一部】

■ワークショップ

時間	内容	定員	主催者
10:00～12:00	あれから9年スペシャル—仙台市職員の震災体験を、朗読、映像、本人の語り等でお伝えします	100人 [先着]	チーム Team Sendai / 仙台市職員からみた震災記録チーム

■発表

時間	内容	定員	主催者/問い合わせ
11:15～12:15	地域における災害への備えを高める取り組み—精神障害者向け避難計画作成ツール「せんだい安心ナビ」を活用した災害対応力向上の試み(申込優先)	48人 (先着)	障害者支援課 ☎214・8165
14:30～16:00	多文化の視点から考える仙台防災枠組	48人 (先着)	防災環境都市・震災復興室 ☎214・8098、仙台観光国際協会

■ステージイベント(直接会場へ)

時間	内容
10:10～10:40、14:00～14:30	阿部清先生「防災エンスショー」(科学実験を通じて防災を学びます)
10:50～11:05、14:40～14:55	ショウちゃんの腹話術防災ミニ講座

■展示

大学生が考案した、段ボール製避難所用授乳室「HONEY ROOM」や、高校生、大学生、企業等による防災食の試食など、全53団体による展示があります。

防災を考えるきっかけを作りたい

段ボール製避難所用授乳室「HONEY ROOM」を考案した東北工業大学工学部建築学科の皆さんにお話を伺いました。

この授乳室は、「避難所等で活用できる段ボール製品」を提案するプロジェクトの中から生まれました。

「東日本大震災のときの経験や当時のことを調べていく中で、小さい子どものいるお母さんが授乳が大変だったことを知りました。人目を気にせず安心して授乳できる場所が必要だと思



▲女性ならではの視点が生かされています

い、考案しました」と鈴木楓由さんはきっかけを話します。高泉沙知恵さんは「製作の過程で、お母さんが赤ちゃんを抱いて、手がふさがったままのドアの開閉は大変だと思い、扉はつけないことにしました。また、周りからの視線が気にならない空間を考えました」と工夫を教えてくださいました。3月に開催された「仙台防災未来

世界防災フォーラム

仙台から産官学民の防災知見を発信

セッション・ポスター発表・展示・スタディーツアーなどを実施します。

- 日時＝11月9日(土)～12日(火)(11日・12日は参加登録者のみ参加できます)
- 会場＝仙台国際センター会議棟、東北大学百年記念会館川内萩ホール(青葉区川内40)

■世界防災フォーラム前日祭(一般公開)

日時	内容	会場
11/9(土) 13:20～17:30	「311を未来へつなぐ」をテーマに、宮城・福島・兵庫の若い世代による震災伝承や郷土芸能などの舞台披露	東北大学百年記念会館川内萩ホール

■一般公開セッションプログラム(一部抜粋)

日時	内容	会場	問い合わせ
11/10(日) 11:00～12:30	東日本大震災メモリアルシンポジウム—経験をつなぐ、その意味とその姿	仙台国際センター会議棟2階	防災環境都市・震災復興室 ☎214・1117
14:00～15:30	防災まちづくりと女性のリーダーシップ(申込優先)	エル・パーク仙台	☎268・8300
16:00～17:30	東日本大震災の経験と教訓を踏まえた新たな防災関連産業の創出を目指して(要事前申込)	産業振興課	☎214・8263

震災対策技術展

企業等による防災製品・技術の展示会

セミナーやVR(バーチャルリアリティ)技術等を使用した防災体験、県内のハザードマップの配布などを行います。

- 日時＝11月10日(日)・11日(月)10:00～17:00
- 会場＝仙台国際センター展示棟

フォーラム2019」で展示され、小さいお子さんがいるお母さんたちにも見てもらったそう。「『落ち着いて授乳ができる』『震災の時にこういうスペースがあったら良かった』などの声をいただき、とても安心しました」と浅野陽菜さんは話します。

仙台防災未来フォーラムでは、製作までの経緯を英訳付きパネルで紹介。「国内だけでなく海外の方など、多くの方々に見ていただける機会なので、どのような反応があるか楽しみです。少しでも防災を考えるきっかけになったらと思います」と皆さんは笑顔で意気込みを語ってくれました。

担当した石井敏先生は、「この取り組みが震災や防災に改めて向き合うきっかけになりました。とても貴重な学びでした。この製品は、災害時はもちろん平時でも役立つものと期待しています」と話しました。



▲写真奥から時計回りに東北工業大学工学部建築学科学科長・石井さん、建築学科4年 高泉さん、鈴木さん、浅野さん

この特集に関するお問い合わせは、防災環境都市・震災復興室 ☎214・8098、FAX214・8497